

CEAKS

交響する アジア

第2回 日中ワークショップ

『東アジア共生の諸問題 ～歴史認識から未来へ～』

2012年9月27日(木)・28日(金)

参加費
無料

会場／愛知大学 車道校舎

第1日目 14:00～17:30

*「次世代研究者ワークショップ」
(9:00～12:00)

■ 基調報告

佐藤 幸男 (富山大学)

■ セッション1

「東アジア共生にとっての歴史認識」

報告：歩 平 (中国社会科学院)

李 長莉 (中国社会科学院)

第2日目 9:00～17:15

■ セッション2

「日中関係の構造的変容と共生」

報告：G. フック (英国シェフィールド大学)

徐 顕芬 (華東師範大学)

劉 傑 (早稲田大学)

■ セッション3

「東アジア共生学創成の課題」

問題提起：板垣 雄三 (東京大学)

■ 総括セッション

【主 催】 富山大学『東アジア「共生」学創成の学際的融合研究』(CEAKS)プロジェクト
愛知大学国際中国学研究センター・国際コミュニケーション学部

【共 催】 中国社会科学院近代史研究所

【後 援】 ワンアジア財団

【問合せ】 愛知大学日中ワークショップ運営事務局 (Tel : 052-564-6120)
富山大学CEAKS事務局 (Tel : 076-445-6442)

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

第2回 日中ワークショップ

『東アジア共生の諸問題～歴史認識から未来へ～』

開催趣旨

2010年から3カ年計画でスタートした『東アジア「共生」学創成の学際的融合研究』(CEAKS)も今回で最終年を迎えました。この間「日韓併合100年」、日中国交正常化40年という歴史の節目に立ち会いながら、アジア社会に残した植民地主義の足跡や課題を再考する機会としてまいりました。さらに、わたくしたちは東日本大震災という「大地動乱」と、フクシマ原発事故に直面し核言説の神話と戦後体制の虚構を自戒しなければならなくなった。いわば文明的視点にたった歴史観が問われる事態と遭遇しています。アジアの隣人たちと協同して開催する今回のワークショップは、愛知大学国際中国学研究センターの協力のもと、オープニングセッションとして「次世代ワークショップ」を設け、若い研究者諸氏が本研究課題を継承し、「未来のアジア」に希望を託したいと思います。



佐藤 幸男
富山大学CEAKS代表

第1日目 9月27日(木曜日)

次世代ワークショップ

9:00~12:00

司会・討論／徐顕芬(華東師範大学人文社会科学学院)

小嶋祐輔(愛知大学国際中国学研究センター)

森川裕二(富山大学極東地域研究センター)

報告1 中国専門記者 太田宇之助の中国認識

—「中国統一像」認識を中心に

島田大輔(早稲田大学大学院)

報告2 李鴻章の対日観—「日清修好条規」締結を手がかりにして—

白春岩(早稲田大学社会科学総合学術院)

報告3 2010年~2012年までの日本における歴史認識問題

—日本国内の主要オピニオン誌を中心に—

野口真広(早稲田大学社会科学総合学術院)

報告4 内モンゴルにおける知識青年下放運動に関する考察

仁欽(愛知大学ICCS、日本学術振興会外国人特別研究員)

報告5 北東アジアの交通ネットワークの形成と地域社会の変容

—東清鉄道の開通とフルンボイルの政治経済事情—

暁敏(愛知大学三遠南信地域連携センター)

第2回日中ワークショップ

14:30~17:30

総司会／小倉利丸(富山大学経済学部)

挨拶／佐藤元彦(愛知大学学長)、鈴木規夫(開催校幹事)

基調講演 「共生」という海のなかの東アジア

—内なるコロニアリズムを超えて—

佐藤幸男(富山大学人間発達科学部)

第1セッション

15:00~17:30

「東アジア共生にとっての歴史認識」

座長／加々美光行(愛知大学現代中国学部)

報告1 十年来の中・日・韓三国共同歴史研究の基本的状況

歩平(中国社会科学院近代史研究所)

報告2 東アジアの危機と東アジア秩序の再構築

—「華夷秩序」、「強権秩序」と「東アジア共生」—

李長莉(中国社会科学院近代史研究所)

討論者／高士華(中国社会科学院近代史研究所)

馬場公彦(岩波書店、愛知大学国際問題研究所客員研究員)

小倉利丸

【連絡先】

愛知大学「第2回日中ワークショップ」運営事務局(小嶋)

TEL: 052-564-6120 FAX: 052-564-6220

富山大学「東アジア「共生」学創成の学際的融合研究」(CEAKS)事務局(森川)

TEL: 075-445-6440 FAX: 076-445-6475

●お申し込み／不要 ●参加費／無料 ●使用言語／日本語、中国語

第2日目 9月28日(金曜日)

総司会／佐藤 幸男

第2セッション

9:00~12:00

「日中関係の構造的変容と共生」

座長／歩平

報告1 尖閣諸島/釣魚島をめぐる領有権問題の政治学

グレン D.フック(シェフィールド大学東アジア研究所)

報告2 日中関係の構造的変容と共生

徐顕芬

報告3 「歴史認識」問題からの新たな挑戦

劉傑(早稲田大学社会科学総合学術院)

討論者／多賀秀敏(早稲田大学社会科学総合学術院)

高橋五郎(愛知大学現代中国学部)

第3セッション

13:30~16:00

「東アジア共生学創成の課題」

座長／グレン D.フック

問題提起 東アジア共生学創成の課題

板垣雄三(東京大学)

討論者／鈴木規夫(愛知大学国際コミュニケーション学部)

末岡宏(富山大学人文学部)

森川裕二

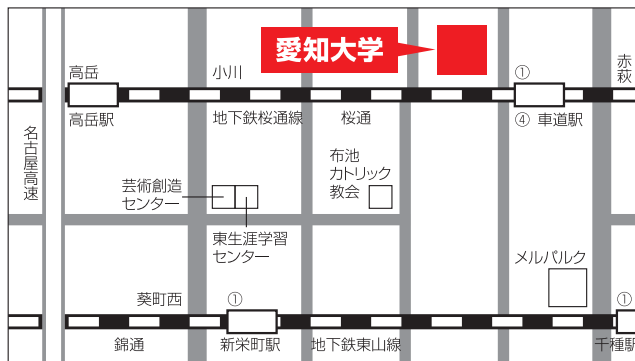
総括セッション

座長／鈴木規夫

【会場】

愛知大学車道校舎 7F法廷教室(27日)、13F第3会議室(28日)

〒461-864 愛知県名古屋市中区筒井2丁目10-31



地下鉄桜通線「車道」(名古屋駅から10分)1番出口より徒歩2分。